

新市将来構想の概要

新市将来構想を作成しました

平成16年3月18日(木)都幾川村中央公民館で第4回比企地域3町3村合併協議会を開催しました。協議会には協議会委員50名中49名が出席し、新市将来構想など合併協定項目について協議しました。

基本理念

一生涯安心して暮らせる笑顔とやさしさがあふれるまち

人と自然が共生し快適で利便性の高い活力あるまち

地域の個性を生かす新しい魅力あるまち

将来都市像

人・文化・自然が生きづく活力ある丘陵都市

施策の大綱

将来都市像を実現するためのまちづくりの基本方針を、施策の大綱としてまとめました。

健康で安心して暮らせるまちづくり
緑豊かな自然を活かした快適で安全なまちづくり
環境に配慮し自然と調和したまちづくり
歴史を重んじ、地域・世代を越えた心と心がふれあうまちづくり
豊かな地域特性を活かし、創造力と活力に満ちたまちづくり
住民と行政が協働し信頼し思いやりのあるまちづくり
財政力の強化と行政組織の再構築による自立したまちづくり

新市主要プロジェクト案

施策の大綱をより具体化し、新市が先導的・重点的に推進する施策として、次の10の新市発展プロジェクトを住民の皆様にご提案いたします。

1 安心・安全推進プロジェクト

空き交番等の解消や地域ぐるみ防犯体制の支援を行います。交通事故防止のため、歩道や交通安全施設の整備を計画的に進め安心・安全なまちを築きます。

2 健康・福祉推進プロジェクト

すべての人が安心して暮らせる福祉サービスの充実を図り、総合相談窓口を設置します。生涯にわたる健康管理システムの構築やスポーツ・レクリエーション施設の整備により健康づくりを推進します。

3 医療体制確立プロジェクト

病気の早期発見、早期治療のための予防医療の充実や、救急体制の整備など医療機関との連携強化を図ります。地域の中核となる医療機関の充実も促進します。

4 水と緑の再生プロジェクト

水源かん養などを図るため森林整備基金の創設による森林や里山の計画的整備や、河川を再生させるため、下水道や合併処理浄化槽等の整備を進めます。

5 循環型社会推進プロジェクト

リサイクルシステムの推進と廃棄物の資源化施設の充実により、環境にやさしい循環型社会の実現をめざします。

6 利便性向上プロジェクト

幹線道路や生活道路の整備促進、路線バスや鉄道などの公共交通機関の充実により日常生活の利便性の向上を図ります。

7 子育て支援プロジェクト

乳幼児医療費助成や時間外、休日保育などのサービスの充実、既存の施設を活用した児童福祉施設の整備などにより、安心して子育てのできる環境を整えます。

8 21世紀ひとづくりプロジェクト

既存の学習施設の有効活用、文化芸術活動の支援など生涯学習を推進し、伝統文化を継承します。学校教育施設の充実や語学など国際化に対応した教育を進め、将来地域を担う人材の育成を図ります。

9 地域資源活用プロジェクト

観光資源や施設のネットワーク化、案内サインの統一、イベントの開催により交流人口の増加を図り活力のある地域づくりを進めます。

10 行財政改革推進プロジェクト

専門的職員の確保育成や行財政評価システムの確立により、行政サービスの向上と行財政の効率化を推進します。情報公開を推進し、公正・公平で開かれた行政を進めます。

主要プロジェクト案では、自然条件や歴史的背景、地域の特性、将来の土地利用を勘案して地域を設定し、個性を活かしたまちづくりを進めるため「地域別整備方針案」も作成しました。新市将来構想は協議会のホームページでご覧になれます。なお、概要版を作成し、全戸配布により住民の皆様にお知らせいたします。

第4回合併協議会の主な会議の内容

【報告事項】

報告事項について、次のとおり承認されました。

報告第18号

第3回協議会議員及び農業委員会委員の定数等検討小委員会報告について

協議会議員の定数及び任期等の取扱い

・議員の定数は30人とし、在任特例を適用することとしました。

・在任期間及び報酬と選挙区については、次回へ継続協議としました。

・農業委員会委員の定数及び任期等の取扱い

・選挙による委員定数は30人とし、1年以内の在任特例を適用することとしました。

・滑川町、嵐山町、小川町と東秩父村、都幾川村と玉川村の4選挙区を設けることとしました。

・在任期間及び報酬については、次回へ継続協議としました。

報告第19号

第4回及び第5回新市まちづくり計画策定小委員会報告について

新市将来構想の基本となる将来都市像や新市の主要プロジェクト案について協議し、新市将来構想(案)を作成しました。

報告第20号

第3回及び第4回事務所の位置検討小委員会報告について

現庁舎の活用方式については、総合支所方式とすることとしました。

新市の事務所の位置については当分の間、現在の小川町役場の位置とすることとし、本庁機能については、嵐山町役場との分庁としました。

報告第21号

第3回及び第4回新市の名称及び地域審議会等検討小委員会報告について

新市の名称公募結果より、小委員会委員12名が新市名称候補としてふさわしい名称をそれぞれ5候補選定することとしました。

小委員会の選定候補として5候補を決定しました。

新市の名称公募結果
 応募総数 2,170 件
 有効数 2,126 件
 種類数 826 件

小委員会選定5候補
 (50音順)

にしひき企市
 ひき企市
 ひき企市
 みどり市
 みどり野市

【協議事項】

協議事項について、次のとおり決定しました。

協議第23号

新市将来構想について決定しました。

協議第24号

新市の名称について協定項目3 新市の名称の選定方法について決定し、選定は継続協議としました。

協議第25号

協定項目4 新市の事務所の位置について 新市の事務所の位置については、継続協議としました。

会議予定

第6回新市まちづくり計画策定小委員会

とき 平成16年4月13日(火)
 午後2時から
 ところ リリックおがわ 2階

第5回合併協議会

とき 平成16年4月21日(水)
 午後2時から
 ところ 玉川村中央公民館

第5回新市の名称及び地域審議会等検討小委員会

とき 平成16年4月27日(火)
 午後2時から
 ところ リリックおがわ 2階

*会議の傍聴手続

会議開催の1時間前に受付を開始し、30分前に傍聴証を交付します。

新市の名称公募結果(10票以上)

順	名称	票数	順	名称	票数
1	比企市	341	17	武蔵比企市	14
2	西比企市	64	19	埼玉中央市	13
3	ひき市	52	19	比企丘陵市	13
4	みどり市	38	21	むつみ市	12
4	槻川市	38	21	奥武蔵市	12
6	笠山市	35	21	彩央市	12
7	おおむらさき市	30	21	清流市	12
7	山川市	30	21	比企川市	12
9	西埼玉市	24	21	武蔵ヶ丘市	12
10	せせらぎ市	23	21	武蔵丘陵市	12
11	武蔵京都市	21	28	比企野市	11
12	武州市	18	29	さくら市	10
12	緑川市	18	29	ふるさと市	10
14	武蔵市	17	29	彩川市	10
14	和市	17	29	埼玉市	10
16	清川市	16	29	里山市	10
17	みどり野市	14	29	緑市	10

新市の名称公募集計結果!

たくさんのご応募ありがとうございました。

新市の名称公募は、2月2日から2月25日まで募集を行ったところ、2,170件の応募がありました。有効投票の中から小委員会にて5候補を選定し、協議会で新市の名称を決定します。なお、10票以上の応募があった名称は次のとおりです。

滑川町・嵐山町・小川町・都幾川村・玉川村・東秩父村
 比企地域3町3村合併協議会
 〒355-0214 埼玉県比企郡嵐山町大字志賀1710番地
 TEL 0493(61)2657 FAX 0493(62)4916
<http://www.hiki3t3v.net>
 E-mail:gappei@hiki3t3v.net